

国際シンポジウム

環太平洋地域における日本人の国際移動

主催：日本人の国際移動研究会／立命館大学国際言語文化研究所

日時：2009年10月10日（土）13:00-18:00／10月11日（日）10:00-18:00

会場：立命館大学創思館カンファレンスルーム

2009年10月10日（土）

セッション1 日本人の国際移動と太平洋世界の形成

基調報告 日本人の国際移動と太平洋世界の形成

米山 裕（立命館大学）

セッション2 太平洋世界の多様性・多元性と日本人の国際移動

報告

パシフィック・ヒストリーにむけて：アメリカにおける研究動向を中心に

清水さゆり（ミシガン州立大学）

誰が移民を送り出したのか

坂口満宏（京都女子大学）

太平洋をめぐるニシンと日本人：第二次世界大戦前のカナダ西岸における塩ニシン製造業

河原典史（立命館大学）

「文明国標準」の南洋観：環太平洋における「帝国」日本の一断面

酒井一臣（大阪大学研究員）

コメント 和田光弘（名古屋大学）／ 質疑応答

2009年10月11日（日）

セッション3 GISを活用した東洋拓殖移民への空間論的接近

報告

GISからみた東洋拓殖移民の地域的展開：高知県仁淀川流域を事例に

飯塚隆藤（立命館大学研究員）

東洋拓殖による農業入植地の立地特性

轟博志（立命館アジア太平洋大学）

東拓移民の帰国をめぐる同窓会の役割：禾湖里尋常小学校同窓会を事例に

佐藤量（大阪市立大学研究員）

コメント 木村健二（下関市立大学）／ 質疑応答

セッション 4 移住先地域から見た環太平洋日本人世界

報告

植民地空間満州における日本人と他民族：競馬場の存在を素材として

山崎有恒（立命館大学）

上海の日本人居留民：租界行政との関係を中心に

藤田拓之（同志社大学非常勤）

戦間期ハワイにおける多民族性と日系人の「位置」：先住ハワイ人との人種関係における一考察

物部ひろみ（同志社大学）

多人種都市ロサンゼルスと環太平洋の想像力：リトル・トーキョー／ブロンズヴィルの経験から

南川文里（神戸市外国語大学）

コメント 貴堂嘉之（一橋大学） / 質疑応答

※上記はシンポジウム当日のプログラムであり、本号の内容とは異なります。